

ナショナル ガスコンベクションBB

高速ガスコンベクションレンジ
(電子レンジ機能付き)

高速ガスコンベクションレンジ

品番

- NE-BB110 NE-BB115S
- NE-BB115 NE-BB116F
- NE-BB115F NE-BB115E

- GE-BB100
- GE-BB105
- GE-BB106F

工事される方へのお願い

- 条件を外れた設置が原因で生じた故障及び損傷は保証期間内でも有料となります。
- 本製品は一般家庭用の製品です。使用頻度の高い業務用にご使用の場合は安全確保のため必ず定期点検(有料)をうけてください。
- 器具を正しく安全にご使用いただくために、説明書をよくお読みになって指定された工事を行ってください。
- 設置工事が終わったら設置工事後の点検確認のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。
- この説明書は必ずお客様にお渡しください。

設置工事後の点検確認

チェックリスト

点検項目	点検内容	参照項目	チェック
同梱部品	正しく取り付けられていますか。又、不足はありませんか。	2-1	
ガス種	銘板と使用するガス種とが適合していますか。	2-2	
電源・電圧	銘板と使用する電源・電圧とが適合していますか。	2-2	
可燃物との距離	可燃物と燃焼距離、火災予防上の措置は十分ですか。	3-1	
水平設置	水平にセットされていますか。	3-4	
安定設置	ガタつきはありませんか。	3-4	
給排気設備	十分給排気できる場所に設置されていますか。	3-2	
ガス接続工事	接続は正しく、ガス漏れなどはありませんか。	4	
電気工事	電源コンセントは専用回路になっていますか。アース工事はされましたか。	5	
付属部品	調理用付属部品は揃っていますか。	2-1	
その他	グリル、オープン扉内に同梱物など残っていませんか。		

試運転

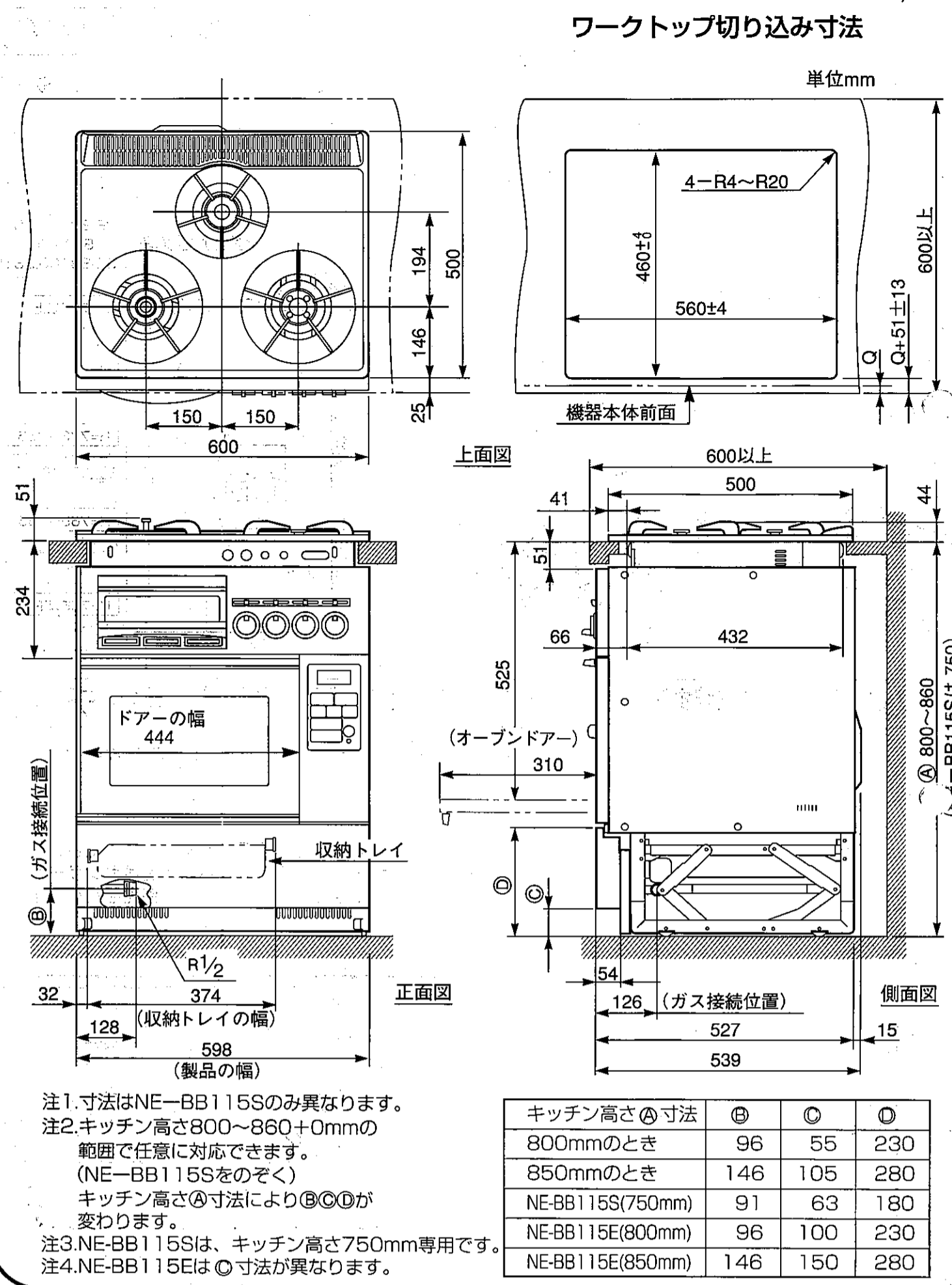
- 1. 取扱説明書の「操作のしかた」に基づき試運転を行ってください。
- 2. 試運転が終了した後長時間使用しない場合等は、ガス元栓を閉じるなどしてください。

お客様への取扱い説明

- 1. 取扱説明書により器具の取扱いを説明してください。
- 2. 保証書に必要事項を記入のうえ、お客様に取扱説明書とともに、設置工事説明書も併せて保管していただくようお願いをさせていただきます。

M0595 A0313-2B41

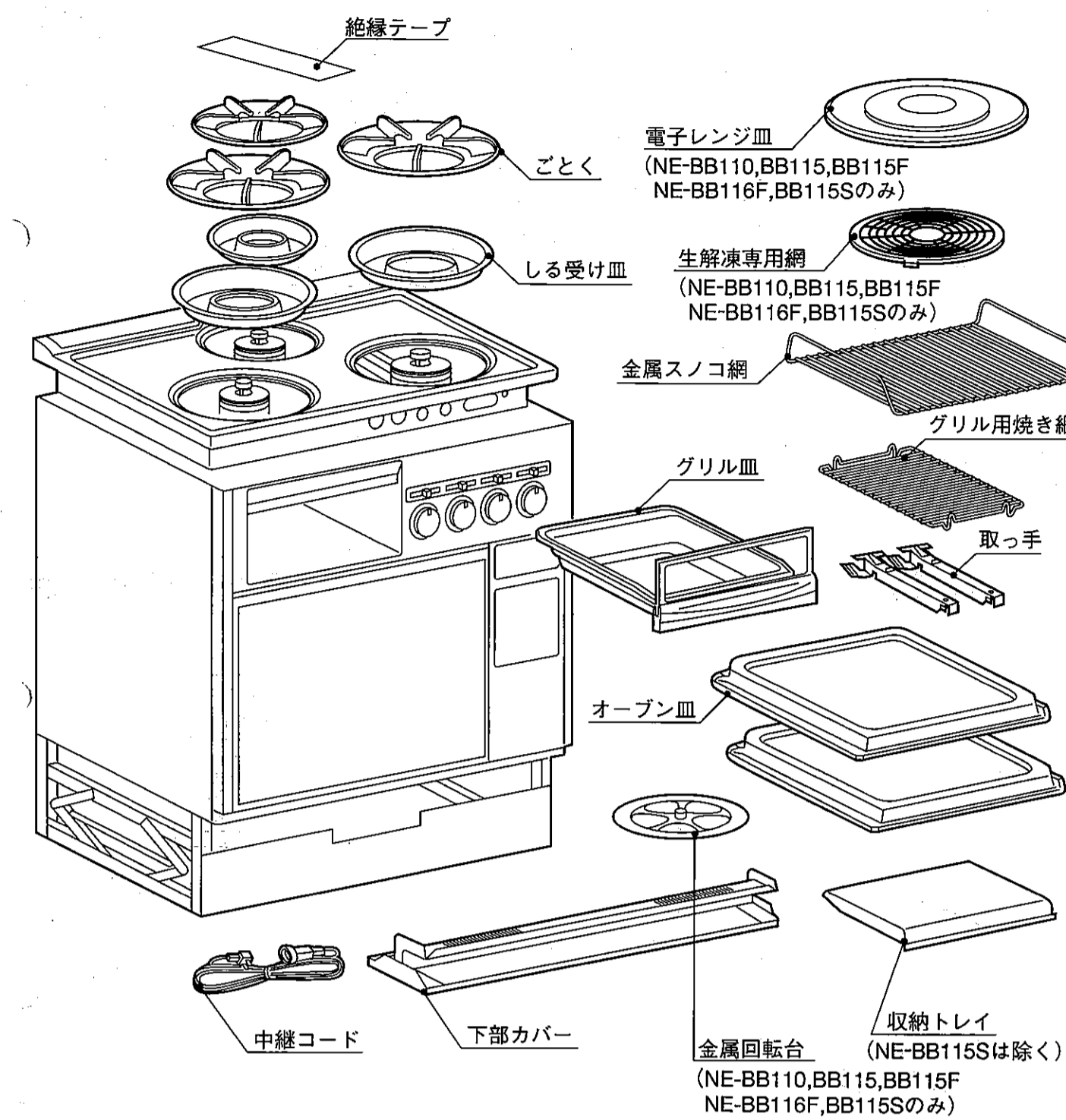
1 外形寸法図



2 設置前のご注意

1. 開梱したら次の項目を確認してください。

- テープやマットを取り除いてください。..... 輸送中器具を保護するものです。
- 器具の外観に異常がありませんか?..... キズ、つみみ類の損傷など。
- 同梱部品の種類と数を確認してください。..... 品番により付属部品が異なります。



※取扱説明書、料理ブックはオープンの中に入っています。お客様におわたしいただくまで紛失しないよう大切に保管してください。

2. 器具の確認

- 器具本体下部カバーを開けた右側に貼ってある銘板に表示しているガス種と使用するガス(ガスグループ)の種類が適合していることを確認してください。
- 器具本体下部カバーを開けた右側に貼ってある銘板に表示している電源(電圧・周波数)と使用する電源とが適合していることを確認してください。

3. 配管などの確認

- ガス元栓が設置する器具の後ろになったり器具底部に設置する収納トレイの下にならないことを確認してください。

4. 設置工事後の点検項目の確認

- 「設置工事後の点検確認」をよく理解いただき、次へ進んでください。

「ガス・電源の確認」

LPガス用の場合	都市ガス用の場合
型式名 LPガス用	型式名 都市ガス用
ガス消費量	ガスグループ
製造年月 製造番号	ガス消費量
製造事業者 定格電圧・周波数・消費電力	製造年月 製造番号
	製造事業者 定格電圧・周波数・消費電力

名称	型式名	型式認可番号	100V
定格電圧	郵政型式	定格周波数	50-60Hz
認定番号	定格消費電力		1.07kW
定格高周波出力			500W

(NE-BB110, NE-BB115, NE-BB115F, NE-BB116F, NE-BB115Sのみ)

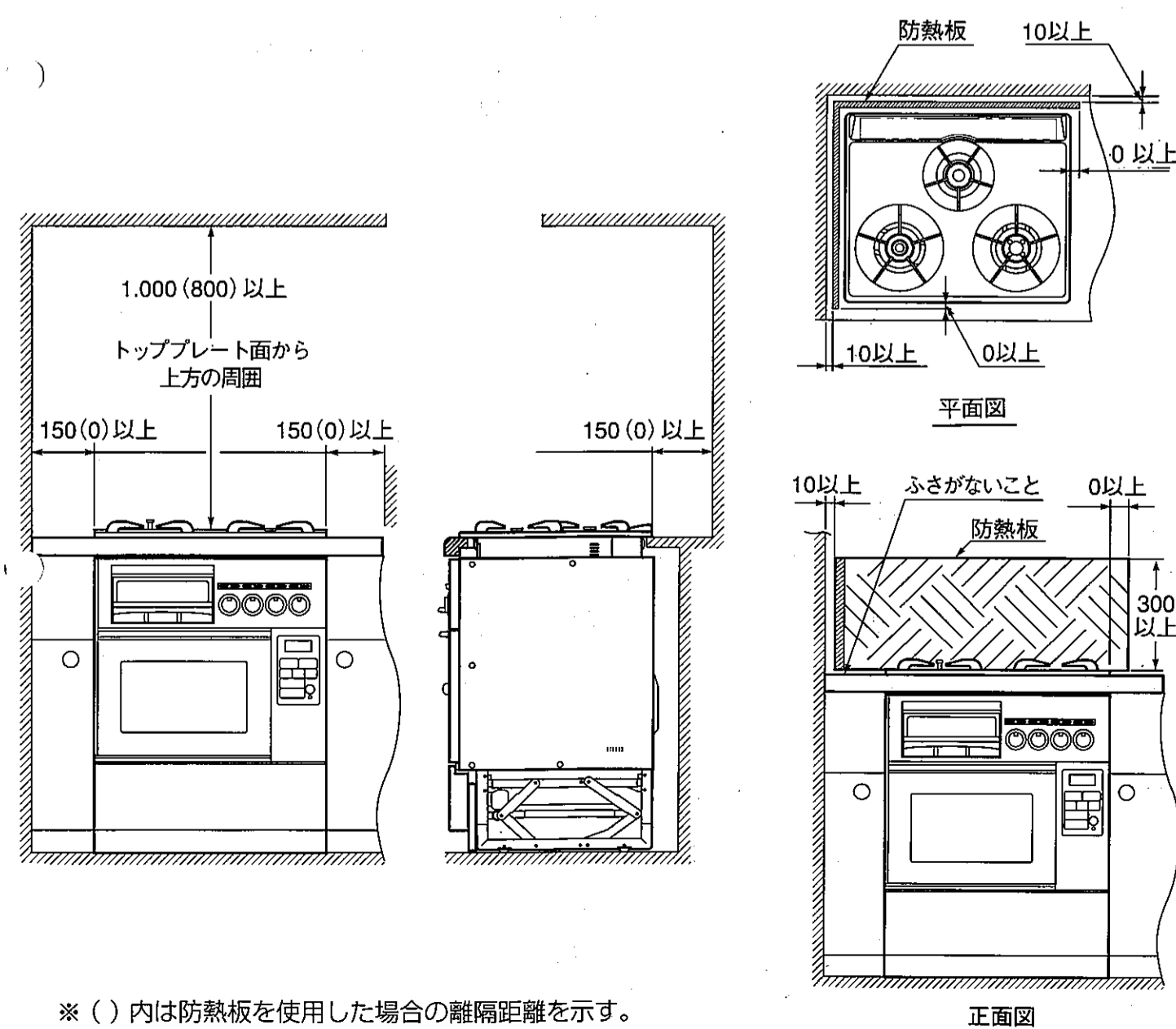
3 設置場所の確認

設置工事を始める前に次の内容を確認してください。

1. 火災予防について

- 燃焼機器を設置する場所には、建築基準法や電気設備技術基準、火災予防条例に定める防火処置を施す必要があります。
- この機器を設置される台所が、建築基準法に定める(内装制限を受ける調理室)に該当する場合は、台所全体についても内装材の制限を受けます。

図-レンジと「可燃材料、難燃材料又は準不燃材料による仕上げをした建築物の部分など」との燃焼距離(mm)



※()内は防熱板を使用した場合の燃焼距離を示す。

- 器具のまわりや上部には、エアゾール缶、プラスチック、油、紙類など燃えやすいものは置かないようにしてください。又、引火危険物を扱う場所には設置しないでください。
- 火災予防条例に準じ、トッププレートより上の側面及び背面は木製のような可燃物から15cm以上離して設置してください。又、上部に可燃物(吊り戸棚など)がある場合は、トッププレート上面と可燃物との間に100cm以上の空間を設けてください。可燃性の壁に、ステンレス板などを貼り付けてご使用の場合も上記内容に従ってください。
- 器具と壁面との間隔を15cm以上離さない場合、又は吊り戸棚などの下面との間隔を100cm以上離さない場合には、壁面及び器具上部へ図のように防熱板(別売部品)又は、防熱板相当の不燃材を取り付けてください。
- 本体の一部が家屋の壁中のラシに触れたり、水切りカバー、壁の防熱板に接触するおそれのある場合は、絶縁テープなどで電気的に接触しないようにしてください。(電気設備技術基準182条により義務づけられています)

2. 給排気について

- 設置する部屋には必ず給気口を設けてください。(給気口の大きさは、1,000kcal/h当たり10cm²以上を目安にしてください)
- 器具の直上に排気フード付排気高(レンジフードなど)を設けてください。

3. 設置場所の周囲について

- テレビやラジオの雑音や映像の乱れを防ぐため、器具はできるだけ(4m以上)離して設置してください。
- 器具後方の排気口(オープン・グリルの排気口)を水切りカバー(水返しカバー)などでふさがれないでください。又、本体をタイルやモルタルで塗り込まないでください。器具のメンテナンス時に修理できないことがあります。
- 棚の下など落下物の危険のあるところ及び、樹脂製の照明器具の下には設置しないでください。

4. 設置場所のふん囲気について

- 水のかかる場所は部品の故障、ガラスの破損や漏電の原因になりますのでご注意ください。又、耐久性などの点から、できるだけ湿気の少ないところに設置してください。
- 丈夫で水平な場所に設置してください。

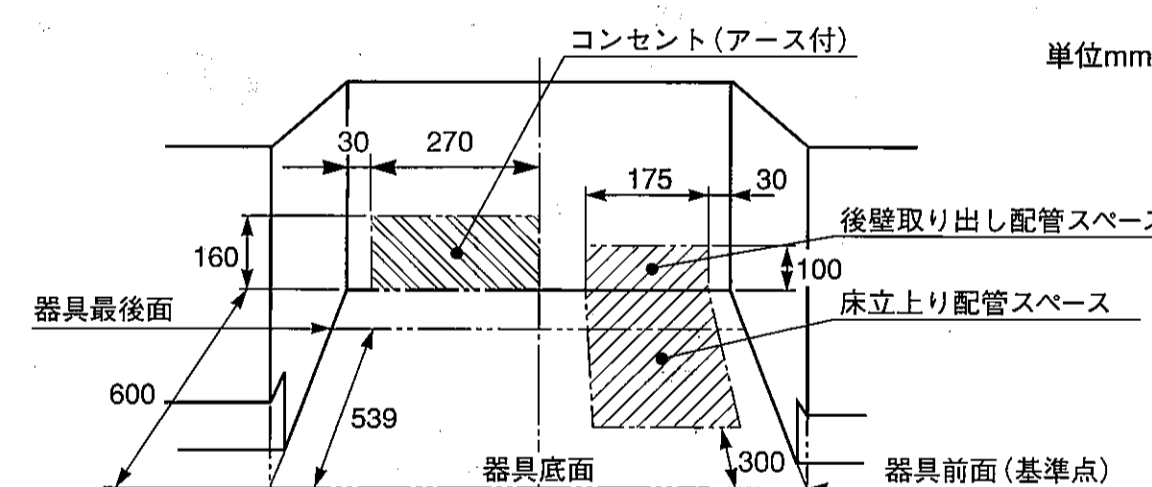
5. カウンタートップについて

- カウンタートップの材質は熱硬化性樹脂化粧板(JIS K 6903)又は、これと同等以上の材料をお使いください。
- 表面がニス引きのものは変色しますのでお使いにならないでください。
- カウンタートップがステンレス製のもの及び、カウンタートップの切り込み端面が金属の場合必ず絶縁テープなどで絶縁処理を施してください。

4 ガス管工事

1. ガス配管工事をされる方へ

- ガス元栓は、4. 標準配管施工事例に従って取り付けください。



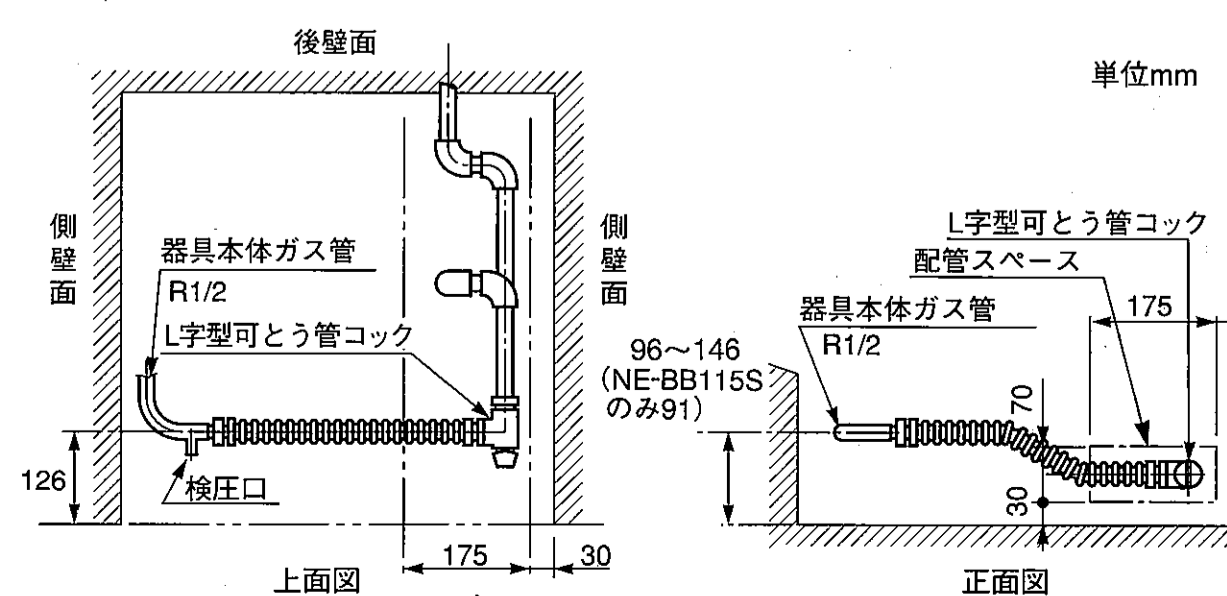
2. ガス元栓

- 器具を設置する場所にガス元栓がない場合、あるいはあっても適切でない(位置・口径)場合は、新設または交換する必要があります。なおガスの元栓の新設、交換はガス事業者にご相談ください。
- ガス元栓(中間コック)はL字型可とう管コックをお使いください。
- ガス元栓(中間コック)のつみみは、必ず配管に対して水平方向になるように施工してください。万一、配管に対して垂直方向に施工した場合は、メンテナンス時に修理できない場合があります。
- ガス元栓(中間コック)の位置が、指定した位置よりはみ出すと収納トレイが取り付けられない場合があります。

3. ガス接続

- ガス接続はR1/2ネジになっています。必ず金属可とう管にてガス接続してください。銅管接続されますとメンテナンス時に修理できない場合があります。
- 金属可とう管が、器具本体の接続口より上方に飛び出したりしますと、収納トレイが取り付けられない場合があります。

4. 標準配管施工事例



5. ガス漏れの確認

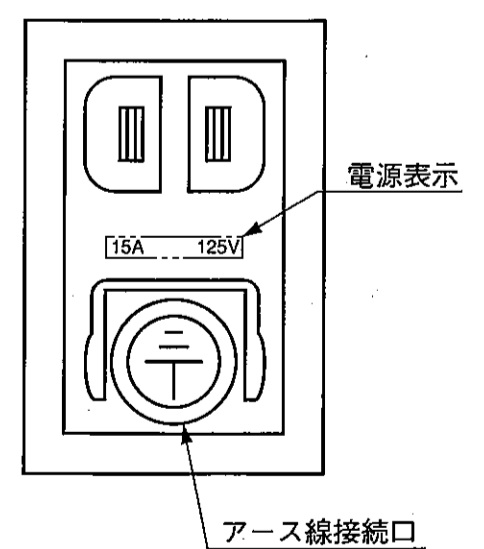
- ガス接続が完了しましたら必ずガス漏れを確認してください。ガス漏れ確認の検圧口は器具本体接続口の近くにあります。(器具前面左下部)

5 電気配線工事

1. 電源コードの接続

- 電源工事や設置工事は「電気設備技術基準」ならびに「内線規定」に準じてください。(推奨コンセント) アースターミナル付(金属枠付) 松下電工製 WN1031 (WN7103W プレート)
- 電源は専用回路・専用コンセントを設けてください。特に電子レンジ機能付きの場合は、同一回路でトースターや電気炊飯器などの電熱器具を同時に使わないでください。なお電子レンジ機能付きの場合の電気容量は15A以上にしてください。

電 源	交流100V	50~60Hz
消費電力	電子レンジ	オープン
	1.07kW	74W



- 電源コードの長さは、中継コードを含め1.5mです。接続要領は「6. 器具の設置の手順」に従って接続してください。

2. アースについて

- 万一の感電防止のためにアースを取り付けてお使いください。
- アースの取り付けは販売店または電気工事店にご相談ください。
- 次の場合は必ず第3種接地工事(接地抵抗100Ω以下)をするよう法律で義務付けられています。

- a) 湿気の多い場所
 - ・うどん屋さん、そば屋さんなどの水蒸気の充満する場所。
 - ・土間、コンクリート床の場所
 - ・酒、しょうゆなどの醸造又は、貯蔵する場所。
- b) 水気のある場所
 - この場合は、漏電遮断器の取り付けについても義務づけられています。
 - ・魚屋さん、八百屋さんの作業場などの水を取り扱う場所、その付近の水が飛散する場所。
 - ・常に水が漏出したり結露する場所。

○アース線はガス管や水道管、電話線用のアース線には絶対に接続しないでください。

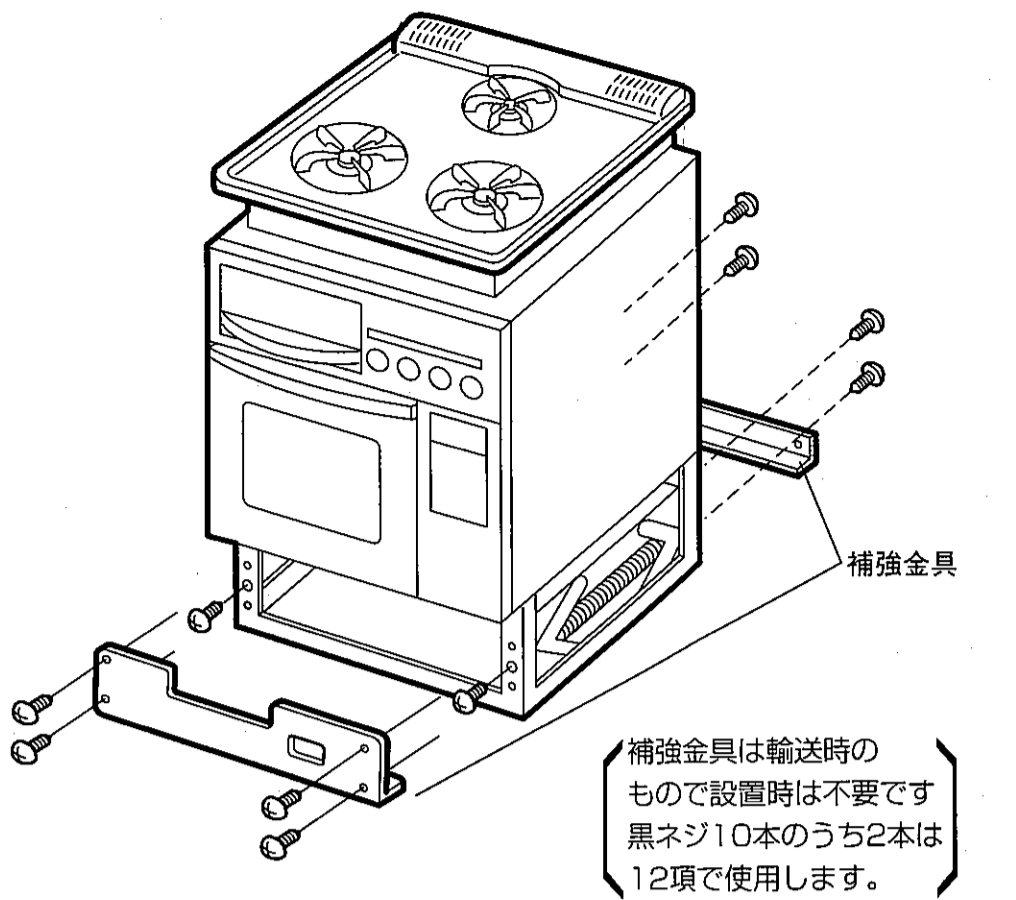
1. 付属品を取り出す。

○オープン庫内から付属品を取り出してください。

2 設置前の注意

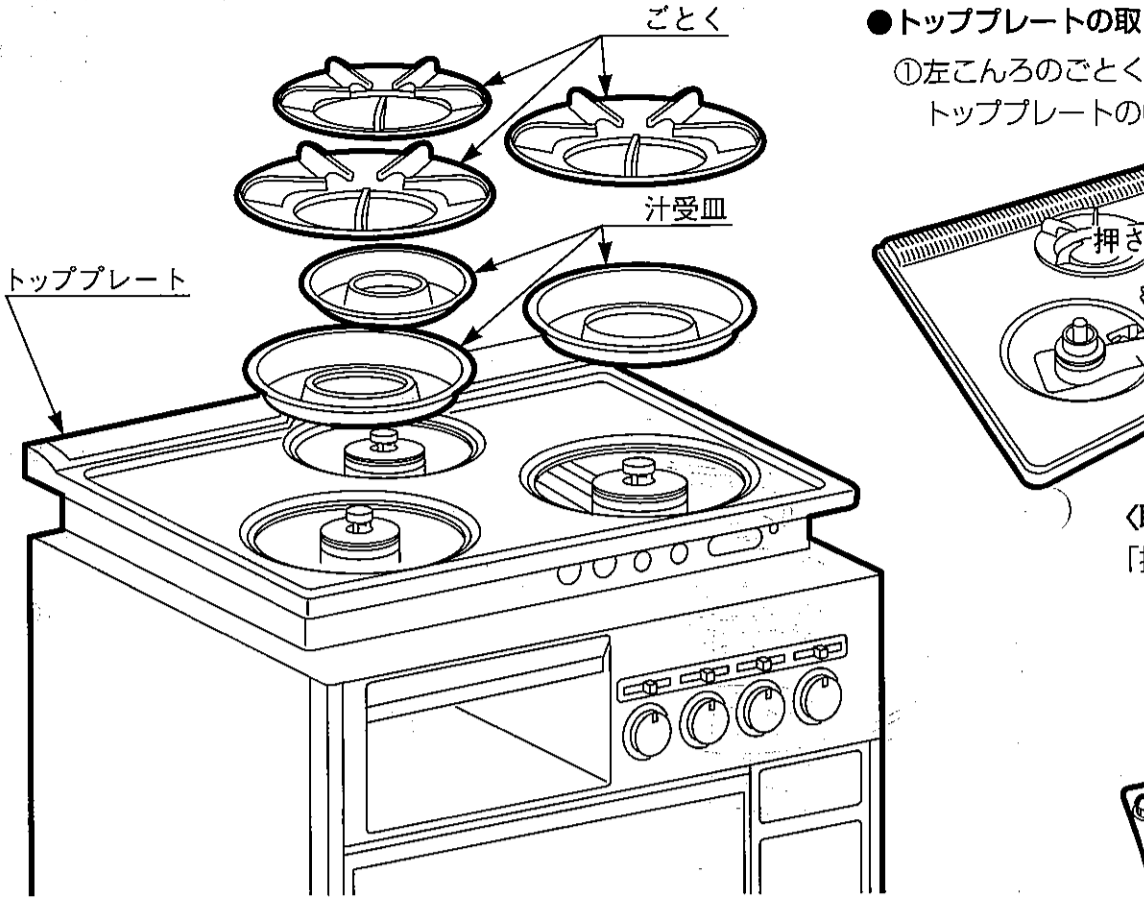
の項を参照してください。

2. 前後の補強金具と固定ビスを外す。



補強金具は輸送時のもので設置時は不要です。黒ネジ10本のうち2本は12項で使用します。

3. ごとく、汁受皿、トッププレートを外す。



●トッププレートの取り付け・取り外し
①左ごころのごとく、汁受皿を取り、トッププレートの中央を押さえながら

②下図に示すレバーを回してください。
③取り付け後、トッププレートを引き上げ固定しているか確認してください。

お願い
必ず「ロック」してください。温度センサーが正常に作動しないことがあります。

「取り外し」かた
「押す」方向へ回す。

「取り付け」かた
「ロック」方向へ回す。

☆カウンタートップ寸法と着脱部品

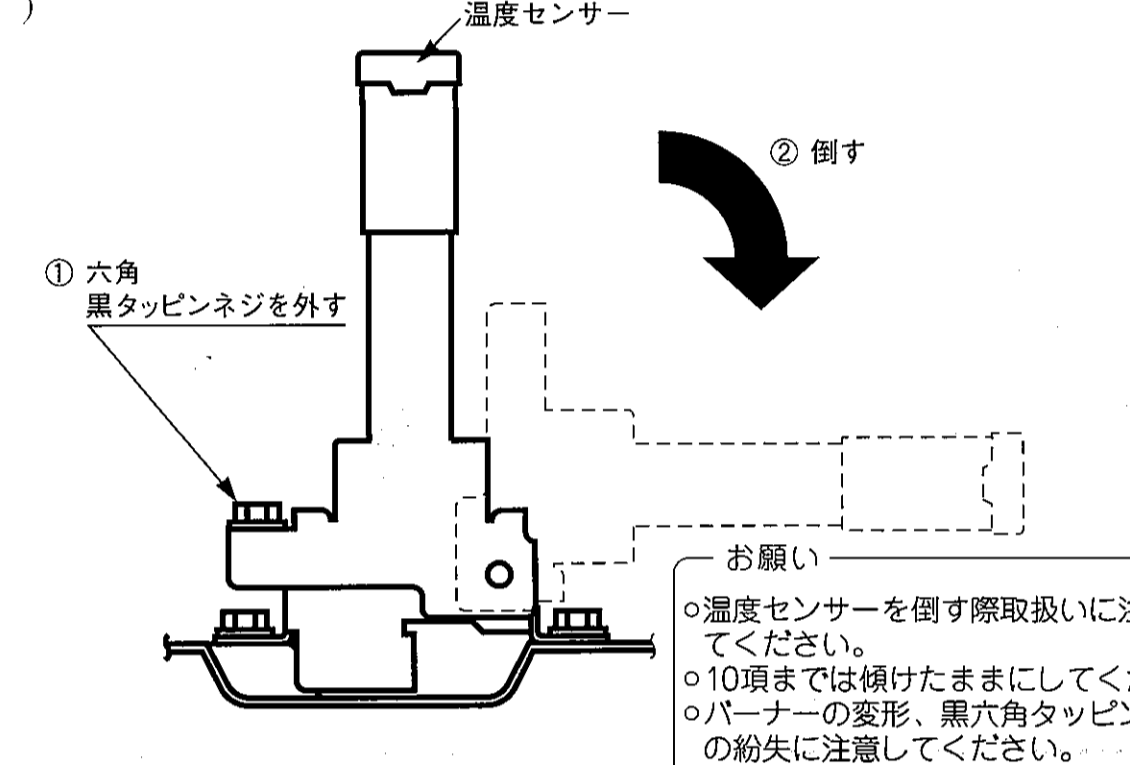
●下図の寸法を確かめた後部品の取り外し、及びセンサーを傾けるなど手順に従ってください。

○H寸法は床面からカウンタートップ表面までを示し、設置時に器具を通過させるために必要な寸法です。

NE-BB110, BB115, BB115F, BB115S, GE-BB100, BB105	NE-BB116F, GE-BB106F	NE-BB115S
H=795以上 そのままで取り外し、センサーを傾ける。	H=710~720 バーナーキャップを全て(3個)取り外し、センサーを傾ける。	H=710以下 設置できません。
H=795~773 5バーナーを外し、センサーを傾ける。	H=710~720 バーナーキャップを全て(3個)取り外し、センサーを傾ける。	H=710以下 設置できません。
H=773~765 バーナーキャップを全て(3個)取り外し、センサーを傾ける。	H=710~720 バーナーキャップを全て(3個)取り外し、センサーを傾ける。	H=710以下 設置できません。
H=765~755 設置できません。	H=710~720 バーナーキャップを全て(3個)取り外し、センサーを傾ける。	H=710以下 設置できません。
H=755以下 設置できません。	H=710~720 バーナーキャップを全て(3個)取り外し、センサーを傾ける。	H=710以下 設置できません。

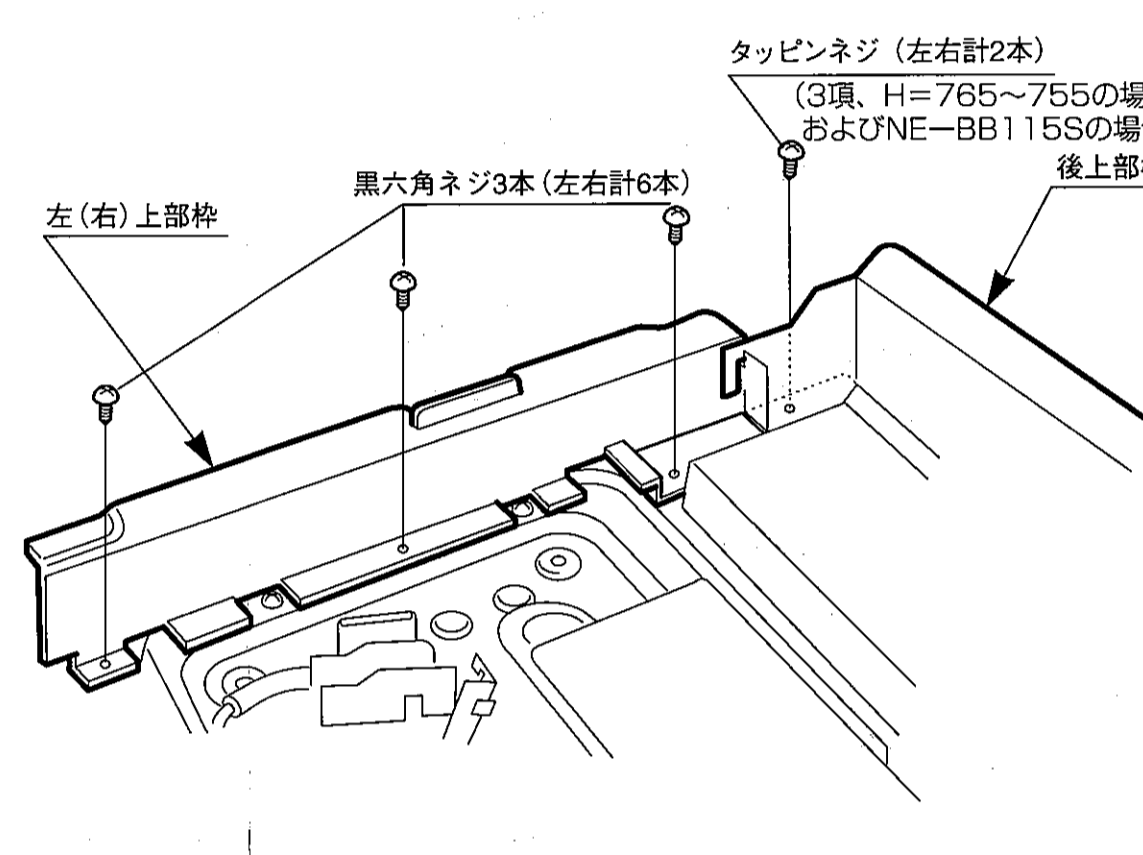
(温度センサーを倒す)

温度センサー付き (NE-BB110, BB115, BB115F, BB115S, GE-BB100, BB105) のみ
●黒六角タッピンネジを外し矢印の方向に倒してください。



お願い
○温度センサーを倒す際取扱いに注意してください。
○10項までは傾けたままにしてください。
○バーナーの変形、黒六角タッピンネジの紛失に注意してください。

5. 本体上部枠を外す。

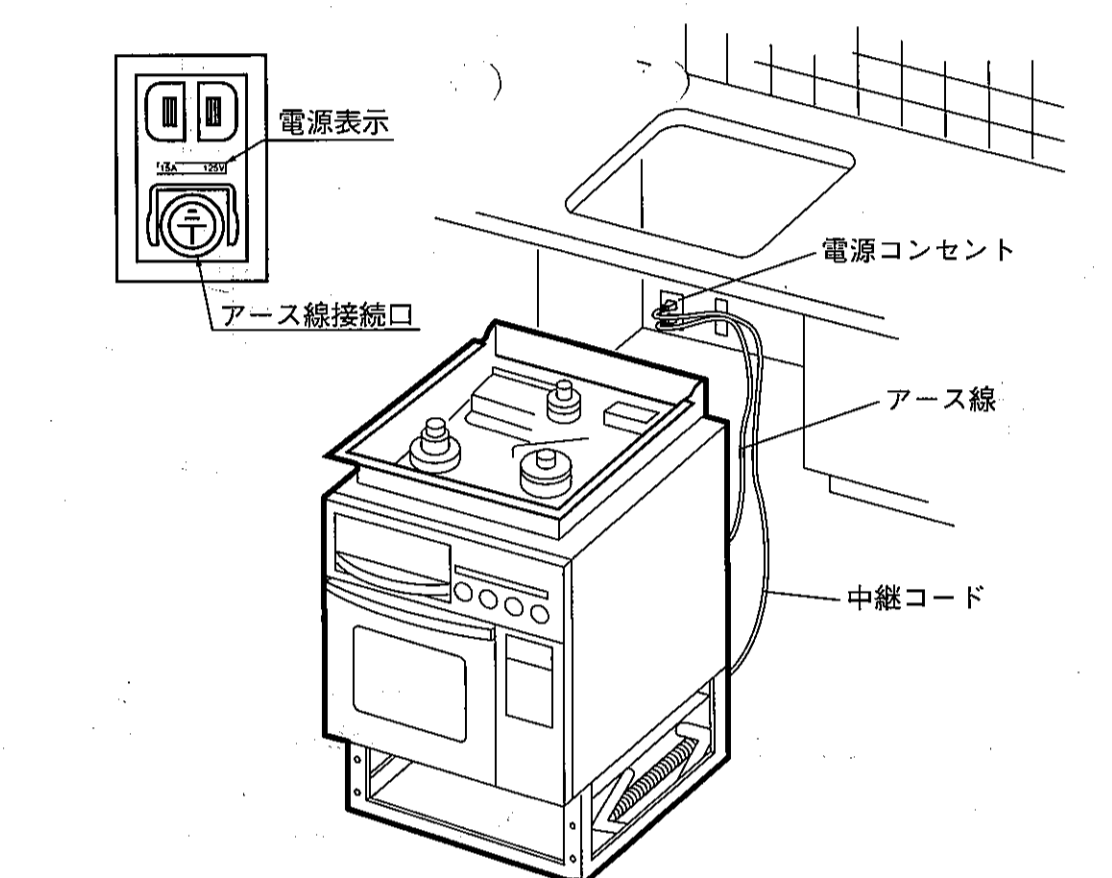


タッピンネジ (左右計2本)
(3項, H=765~755の場合およびNE-BB115Sの場合)
後上部枠

左(右)上部枠

黒六角ネジ3本 (左右計6本)

6. 中継コードのプラグは電源コンセントにアース線はアース端子に接続する。



電源表示
アース線接続端子

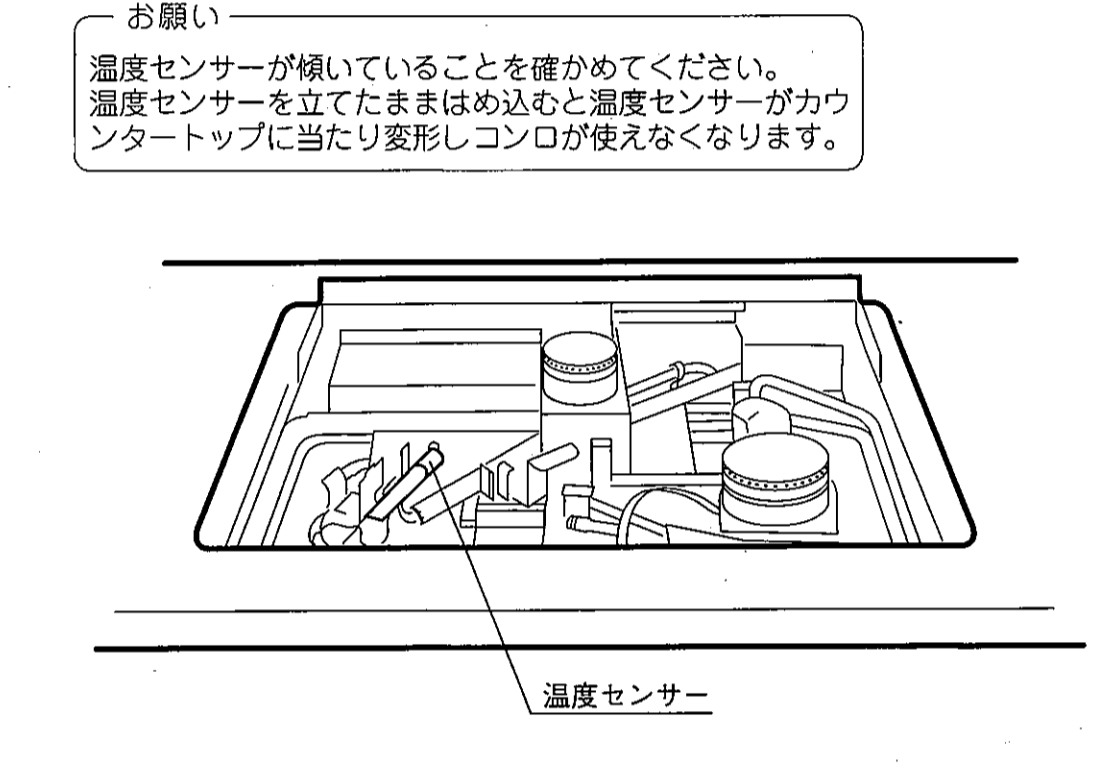
電源コンセント

アース線

中継コード

7. 本体を押し下げ、キッチンにはめ込む。

注) 器体の上部、バーナーキャップなどがカウンタートップに当たらないよう十分押し下げてはめ込む。



お願い
温度センサーが傾いていることを確かめてください。温度センサーを立てたままではめ込むと温度センサーがカウンタートップに当たり変形しシロコが使用できなくなります。

温度センサー

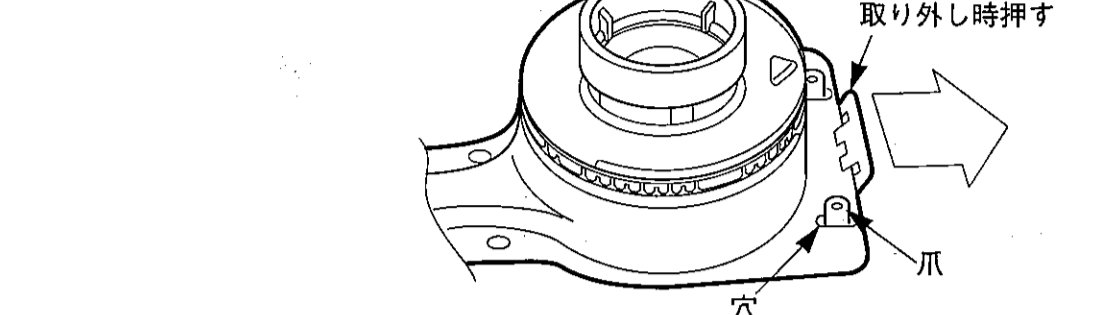
4. 温度センサーを倒す。

温度センサー付き (NE-BB110, BB115, BB115F, BB115S, GE-BB100, BB105) のみ
●バーナーを外したのち温度センサーを倒してください。

お願い
○バーナーキャップに取り付けてある温度センサーを取り外してください。

バーナーの取り付け、取り外しかた。

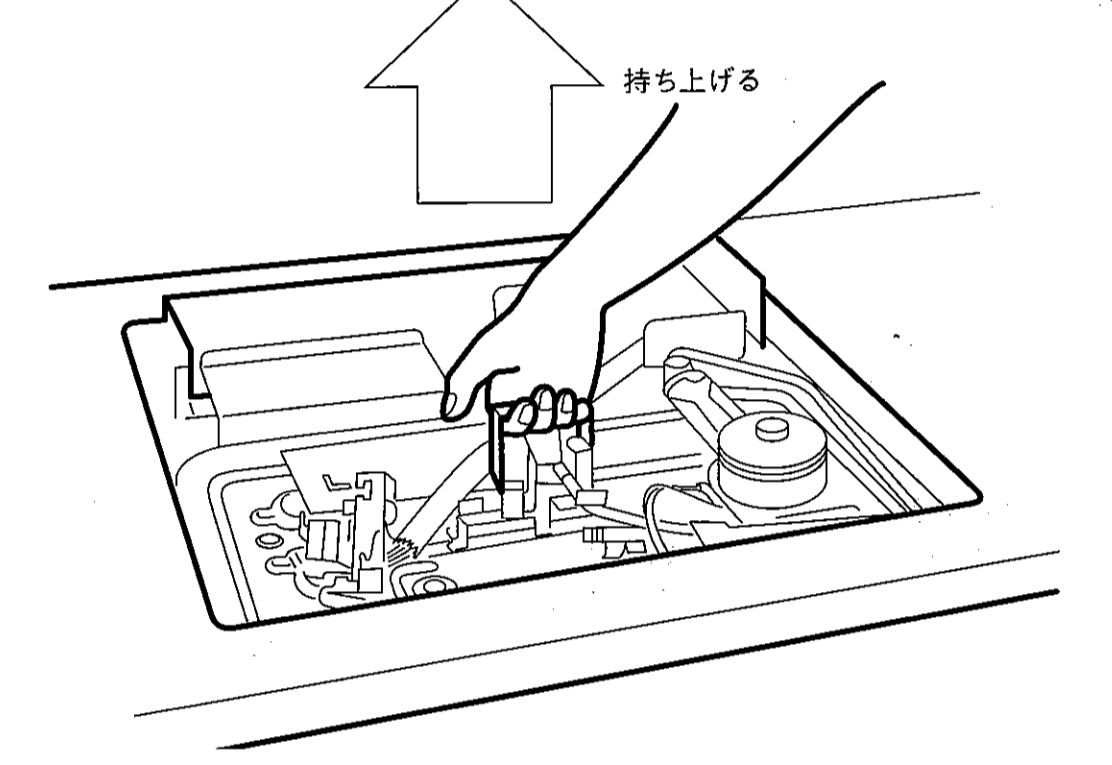
「取り外しかた」
○押さえ板を矢印(→)の方向に押す。



「取り付けかた」
○バーナーの穴と器具の爪を合わせ矢印(↑)の方向へ「カチッ」というまで押す。

8. 本体を持ち上げ上部枠を取り付ける。

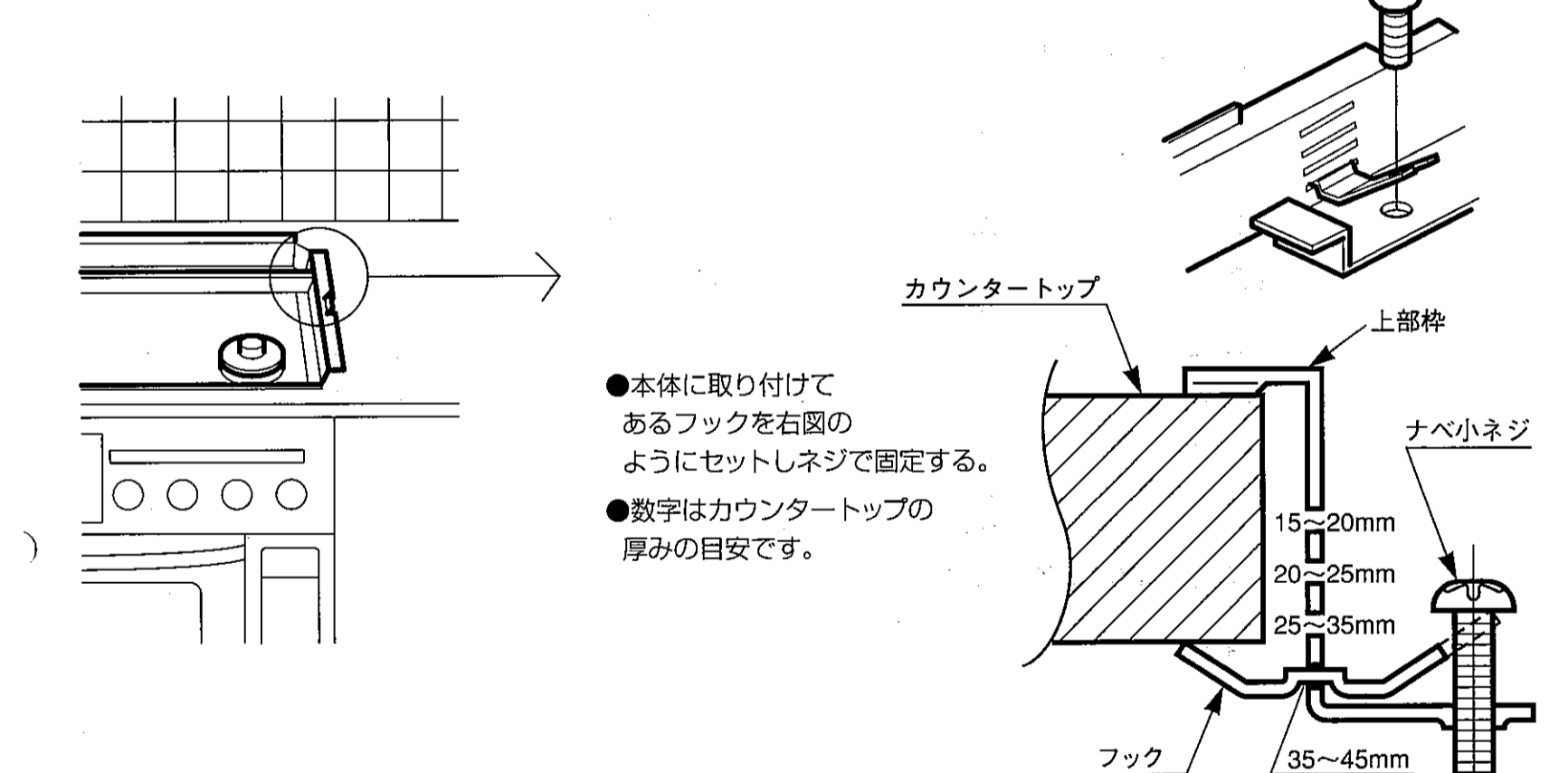
H=765~755の場合およびNE-BB115Sの場合5項で外した後上部枠を取りつけてください。



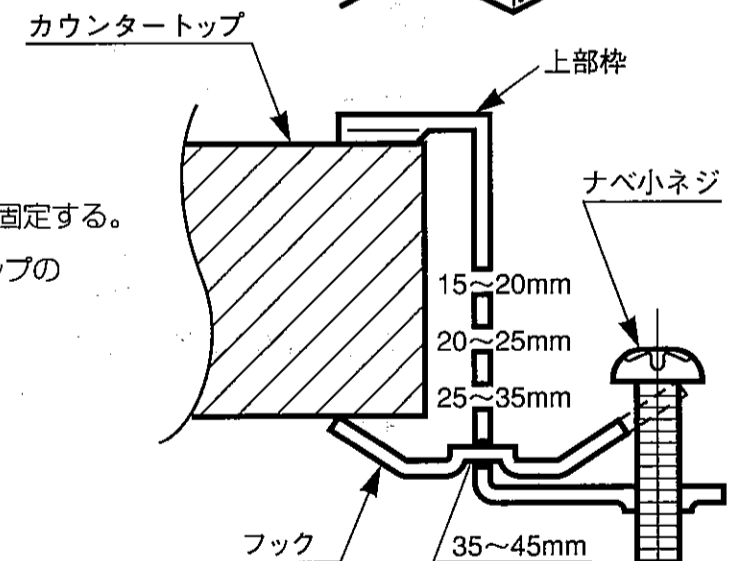
注) 上部枠が倒れないように切り欠き部と正しく嵌合してください。

9. カウンタートップと上部枠をフックで左右(2箇所)固定する。

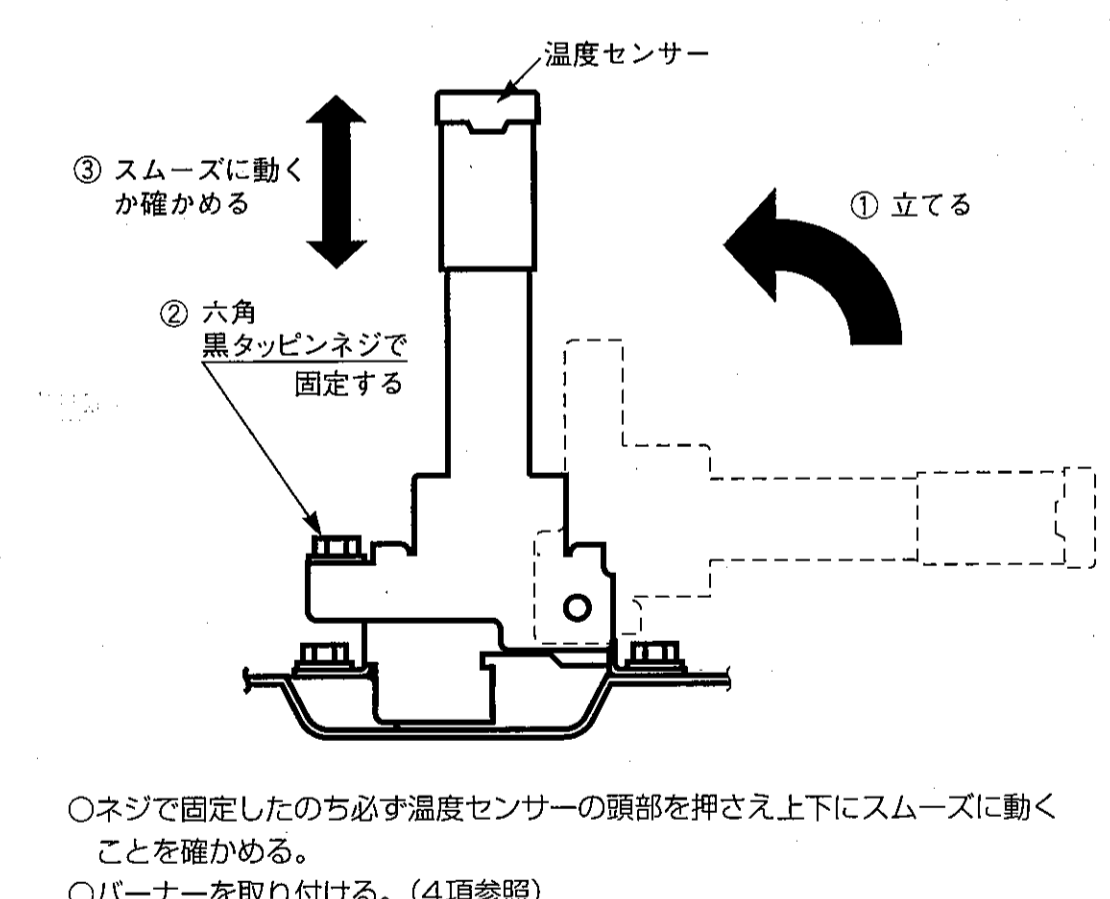
注) 固定が十分でない場合は、本体ガタツキの原因になります。



●本体に取り付けてあるフックを右図のようにセットしネジで固定する。
●数字はカウンタートップの厚みの目安です。



10. 温度センサーをもとの位置に固定する。



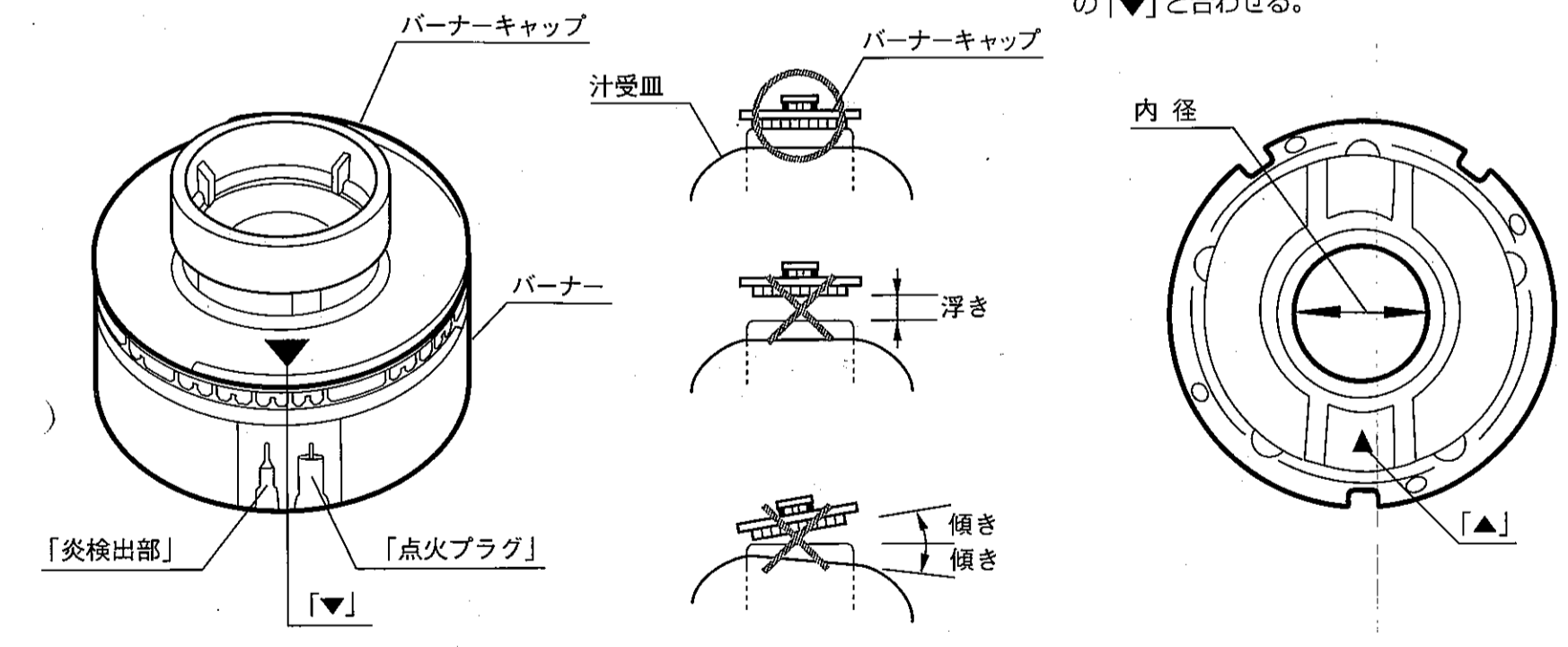
③スムーズに動くか確かめる

②六角黒タッピンネジで固定する

○ネジで固定したのち必ず温度センサーの頭部を押さえ上下にスムーズに動くことを確かめる。
○バーナーを取り付ける。(4項参照)

11. バーナーキャップ、ごとく、汁受皿、トッププレートセットする。

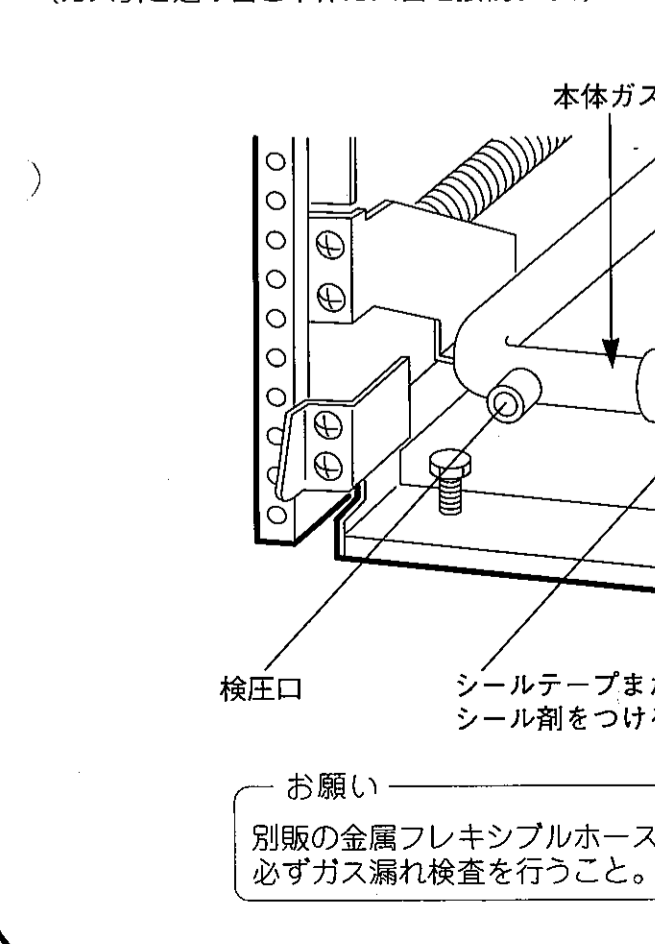
4を参照し、正しくセットする。
○バーナーを取り付ける。
○バーナーキャップの「▼」印を「点火プラグ」と「炎検出部」の中央に合わせる。



●トッププレート、汁受皿、ごとくを取り付ける。
●汁受皿の取り付け
○内径の小さい方が左用
○「▲」をバーナーキャップの「▼」と合わせる。

13. ガス接続をする。

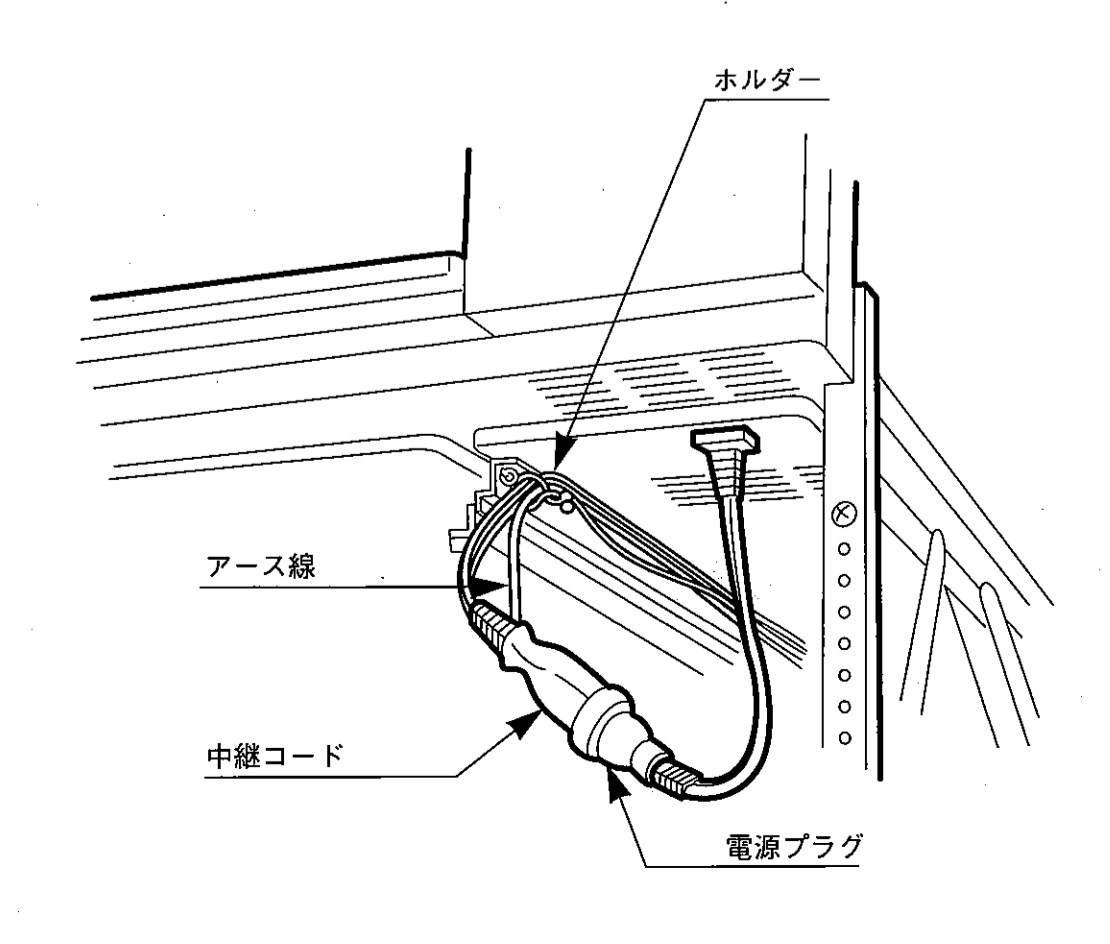
(ガス引き込み管と本体ガス管を接続する。)



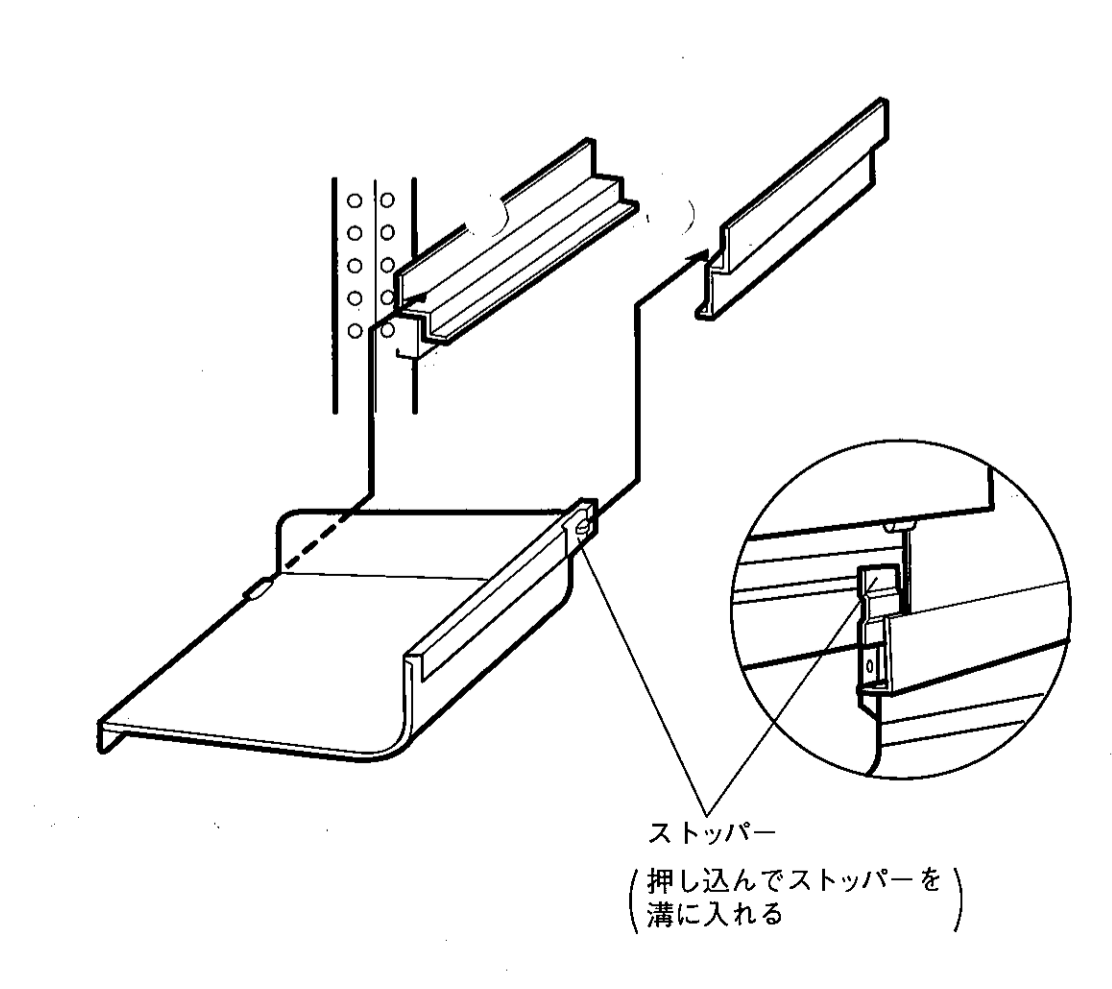
お願い
別販の金属フレキシブルホースを使用のこと。必ずガス漏れ検査を行うこと。

14. 中継コードと本体電源プラグを接続する。

●中継コードとアース線を束ねてホルダーで止める。



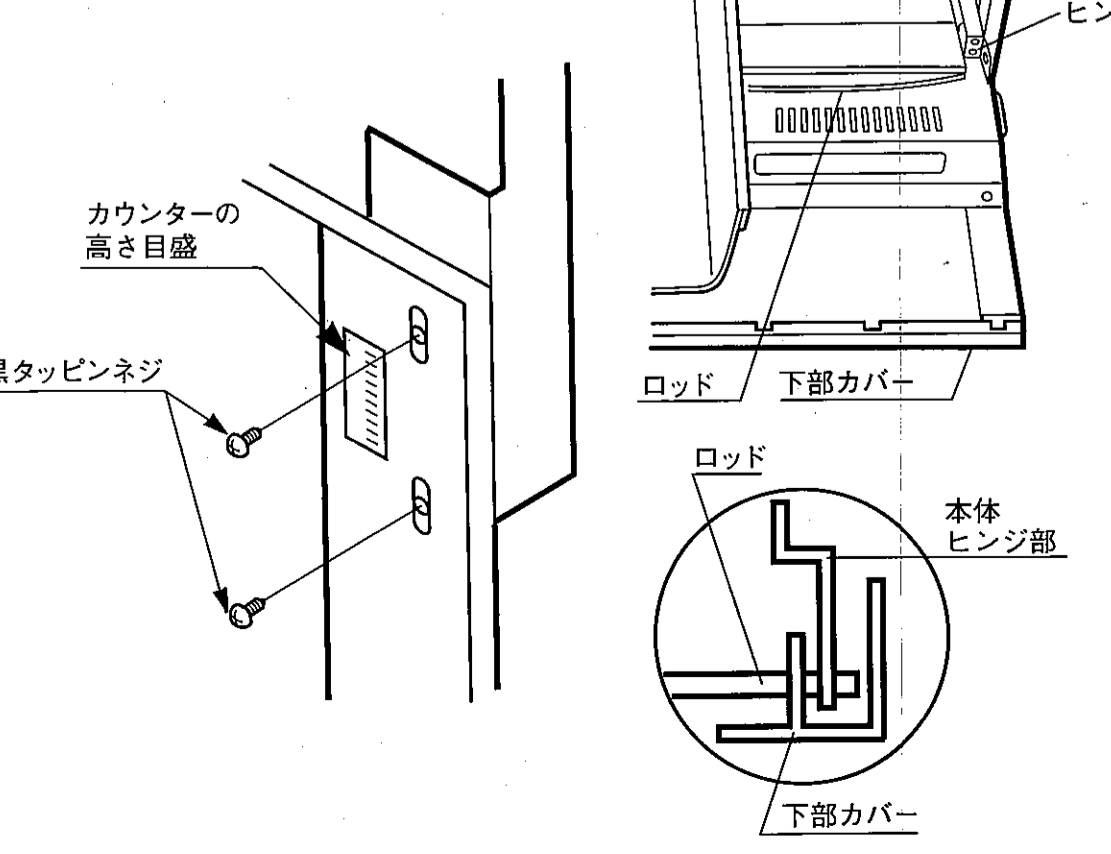
15. 収納トレイを取り付ける。(NE-BB115Sは除く)



ストッパー (押し込んでストッパーを溝に入れる)

16. 下部カバーを取り付ける。

●カウンターの高さに高さ目盛りを合わせて黒タッピンネジで固定してください。
●ロッドをたわませて穴に合わせて押し込む



カウンターの高さ目盛り
黒タッピンネジ

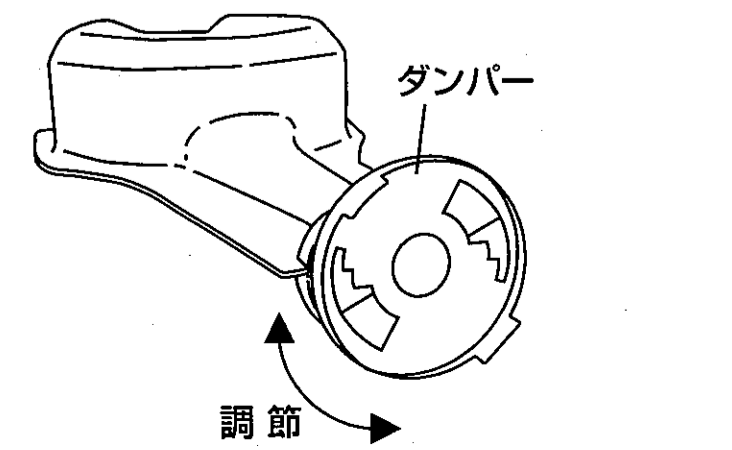
ロッド
下部カバー

本体ヒンジ部

17. 試運転する。

●表紙の「設置工事後の点検確認」に記載する「□チェックリスト」によりチェックする。

都市ガス用で、万ーリフティング(飛火)や、逆火などが発生した場合ダンパーを矢印(←→)の方向に動かして先端にやや丸味がある炎に調節してください。



ダンパー

調節